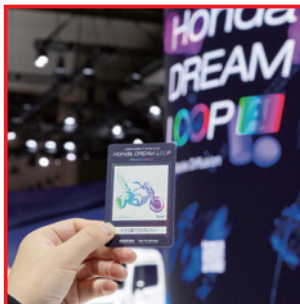




第9期 株主通信

2023年1月1日~12月31日

BUSINESS REPORT



目次

P3	株主のみなさまへ
P4	今期の事業概要
P6	事業戦略
P8	新規グループ参画会社紹介
P10	連結業績ハイライト
P12	連結財務諸表
P14	会社情報/株主メモ

お客さまのご要望にお応えし、クリエイティブの制作から配信まで ワンストップのサービスをご提供いたします。

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに、株式会社日本創発グループ第9期(2023年1月1日～2023年12月31日)の事業の概要につきましてご報告申し上げます。

当連結会計年度においては、ウィズコロナ政策への転換により、社会経済活動の正常化が進み、持ち直しの動きが見られました。一方、ロシア・ウクライナ情勢や中東における紛争など世界経済は不安定な状況が継続しております。欧米先進諸国では、インフレ率上昇に対する金融引き締め策により景気後退懸念が広がりましたが、国内においては、円安による輸入品の物価が上昇したものの、景気回復を優先した金融緩和策を継続するなど、先行き不透明な状況が続きました。

当社企業グループの事業の環境につきましては、電気・ガスの燃料、紙やインクなどを含めた原材料価格は上昇したまま推移する傾向にあり、厳しい状況が続きました。一方、行動制限が緩和されたことにより海外からの旅行者を含め人流が回復し、コロナ禍で回避されたイベントの開催需要が高まるなど企業の販促・広告活動は持ち直したことから、販促ツール・サービスの需要が増加しました。当社企業グループは、お客さまにより付加価値の高いサービスを提供するため、事業環境の変化や事業戦略に基づき将来の成長分野に事業資産を機動的に集中させております。企画提案・製造・制作から配信までをトータルでカバーできるユニークな企業体として、クリエイティブサービス事業の領域拡大に取り組んでまいりました。

これらの結果により、当連結会計年度の業績は、売上高748億46百万円(前期比16.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は25億8百万円(前期比25.2%増)となりました。

私たちは、今後も社会の変化に柔軟に対応し、「クリエイティブをサポートする企業集団」として、お客さまにとって必要不可欠な存在であり続けたいと考えています。そのためにも、クリエイティブサービス事業を中心としたビジネス展開を積極的に推進し、株主のみなさまのご期待に応えるべく一段と努力してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、より一層のご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。



2024年3月

代表取締役社長 藤田 一郎

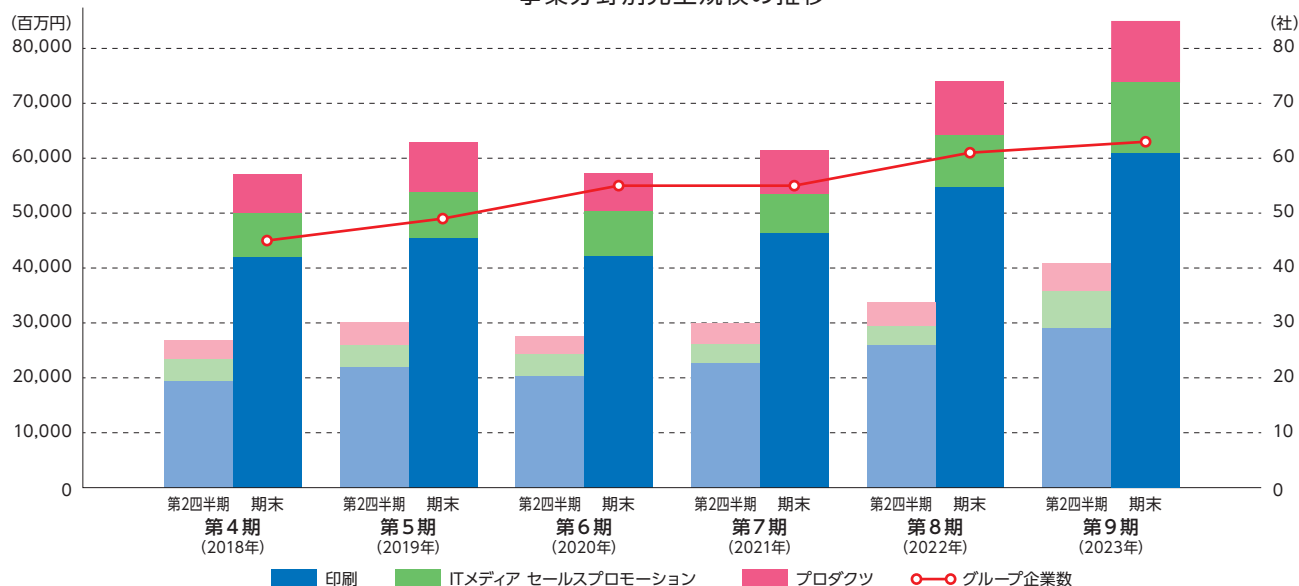
今期の事業概要

社会に求められるワンストップサービス事業の強化

この数年、日本に限らず世界的に社会構造がめまぐるしく変化しています。IT技術の革新が進み情報関連デバイスはよりパーソナル化し、その情報量は飛躍的に拡大しています。さらに私たちの能力を支援するAI技術が進歩したことにより、時間という物理的な制約が、効率的かつスマートに解消されるようになりました。日本創発グループは、印刷関連事業を祖業とし、多様性に富んだ個性的な企業がグループに参画いただくことで、ワンストップサービスで社会の変化とお客さまのご要望にお応えしています。2023年12月期には、飯島製本株式会社を連結子会社とし、創業以来110年の業歴を通して培ってきた高品質の造本技術を持つ共同製本株式会社と当社連結子会社である成旺印刷株式会社の

合併に合意し、グループの印刷関連事業をキャパシティと生産効率両面において強化を進めてまいりました。また、映像コンテンツ・イラストレーションやイベント・プロモーション動画等の企画制作を行う株式会社グレートインターナショナルを連結子会社といたしました。印刷関連事業における需要の回復や新たなニーズへの対応による売上高の増加と、新規参画企業の売上高の増加により、連結売上高に占める割合は、印刷関連事業約68%、ITメディアセールスプロモーション事業約17%、プロダクツ事業約15%となりました。グループソリューションを活用した新しい付加価値の創造によって、より社会に求められる企業グループとして拡大を続けています。

事業分野別売上規模の推移

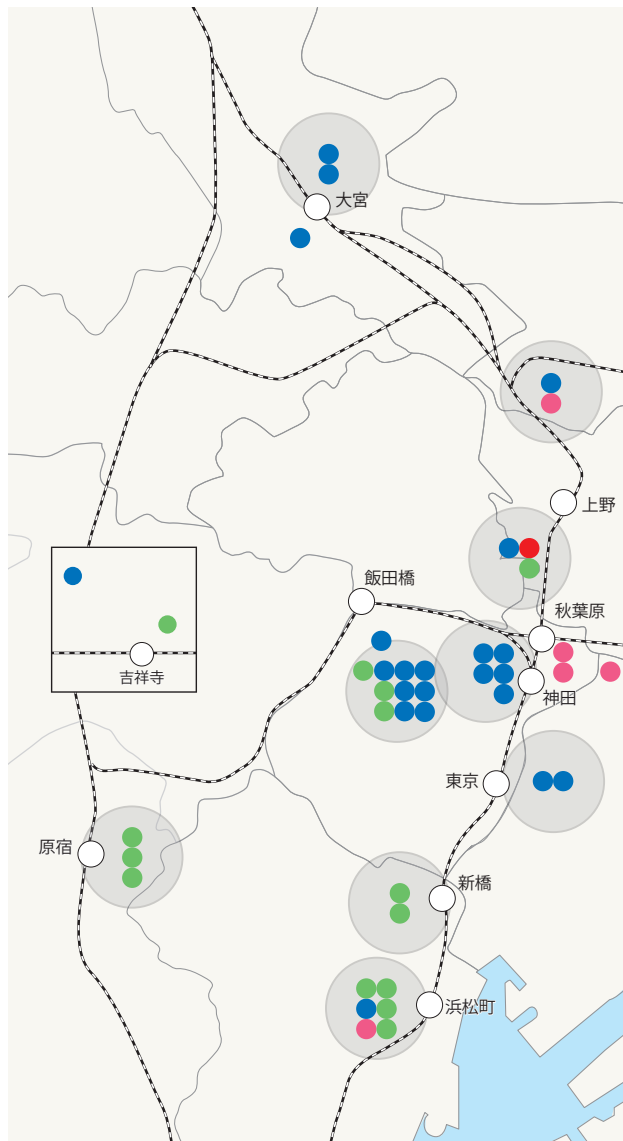


※グラフの値はグループ各社の売上高を単純合計したものです。

事業所ロケーションの変更

当社企業グループは、西日本エリア、中部エリア、関東エリアなど、14都府県に事業所を有しております。特に関東エリアにおいては、多くの関係会社があることから、製造拠点の集約化による生産設備の稼働率向上と製造効率の向上を進めています。また、営業拠点についても印刷関連事業、ITメディア セールスプロモーション事業とプロダクツ事業の異なる分野の専門性が高い技術・商品・サービスを、お客さまからのご要望により企画提案させていただくために、グループ企業間の情報交換を積極的に行うとともに、協業体制でプロジェクトに参加させていただいています。東京都内においては、千代田区神田神保町、千代田区内神田、港区芝、荒川区東日暮里など、当社企業グループが複数同居しているオフィスがあります。その集積拠点の1つであり事業会社の本社・営業所を含め4社が入居している千代田区内神田にある「神田アネックスビル」の土地および建物を2025年12月末までに売却する契約を2024年2月に締結いたしました。また、新たに参画いただいた企業の営業拠点集結を含め、多様なソリューションを活用し、将来的な社会変化にも対応する新しい付加価値の創造を目指し事業所ロケーションの変更に着手しています。望月印刷株式会社と田中産業株式会社の共同営業拠点をさいたま市大宮区桜木町に設置いたしました。事業規模の拡大に伴い株式会社funboxは千代田区岩本町に本社を移転しました。出版事業を行う株式会社ワン・パブリッシングは、港区西新橋にある出版事業を行う株式会社アスコムがグループに参画したことから、その入居するビルに移転しています。

事業拠点の変更と集結は、間接コストの低減効果が期待できることと、グループ企業が持つ専門性の高いソリューションを組み合わせ、より付加価値を高めていくために進めています。



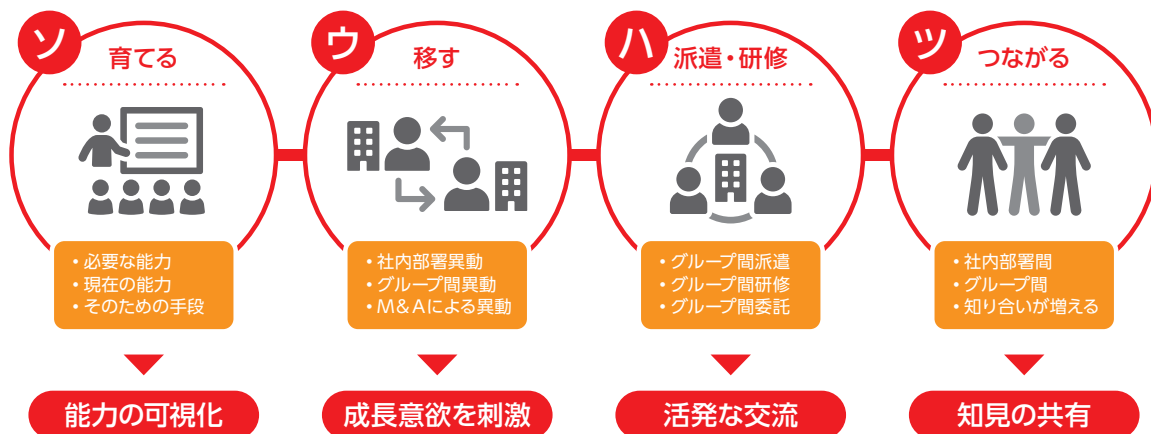
人的資本の活性化による付加価値を創発

わたしたち日本創発グループは、個性豊かでユニークなソリューションを持つ企業の集合体です。それぞれの企業が持つ多様な商品・サービスを担う人材の成長は、重要な経営課題であると認識しています。管理職や将来の管理職候補、若手リーダー層や基礎年次の研修を、所属する企業独自に行うことに加え、グループ合同でも行っており、研修を通して情報交換を促すとともに、日本創発グループがそれぞれの企業の社員の属性に加えて能力・成長の状況を把握し、本人の希望と会社の期待に合わせ異動を含めた育成に取り組んでいます。

近年の物価上昇もあり、地域差も考慮したうえで、2024年新卒社員より初任給額の水準引き上げを行い、優秀な人材の

採用と若手社員の活性化に取り組めます。大学卒や大学院卒の新入社員について、事業会社個別での採用に加えて、日本創発グループにて企画営業職としての採用を行っています。日本創発グループにて採用した新卒社員はグループ企業に数か月ごとに出向し、それぞれの会社にて実務を含む研修をOJTで行います。事業会社での経験により、その会社の商品・サービスの理解とともに、そこで働く仲間との人的ネットワークを得ることができ、グループ横断的な商品・サービスを組み合わせた企画と営業を担う人材として事業会社に配属されます。今後人材の活性化と成長をより一層促すためにも、人的資本の可視化と活性化を目的にDX投資を強化してまいります。

■創発エンゲージメント



日本創発グループのSDGsへの取り組み

世界的な異常気象の報道が相次いでおり、地球規模での環境負荷軽減の取り組みの重要性が増しています。当社企業グループでは、2021年より事業活動に関するCO₂排出量を継続して記録してまいりました。2023年連結会計年度におけるCO₂排出量は、2022年連結会計年度に比較して約5%増加しました。連結売上高の増加率約16%に比較し小幅な増加にとどまったのは、新規グループ参画企業での売上高の増加に加えて、既存企業において事業活動が活発化したにもかかわらず、電気・熱・蒸気など熱源のコスト上昇下の中、可能な限り削減に取り組んだことによるものです。

今後とも当社企業グループは環境保全に向けた活動に積極的に取り組んでまいります。



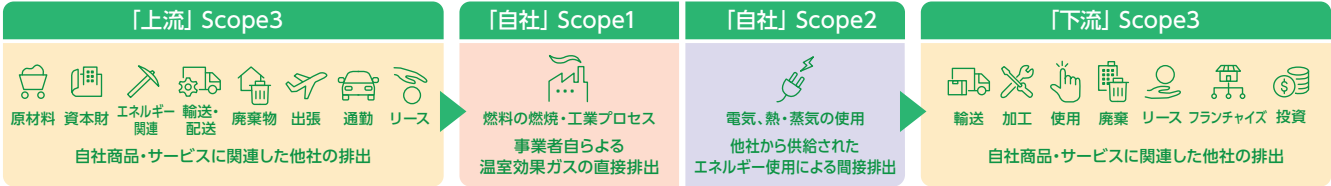
	Scope1	Scope2	Scope3	合計	前年同期比	前年同期 合計 (t-CO ₂)
2023年1月～12月	6,075	22,369	207,345	223,875	105%	223,875

※日本創発グループ印刷関連事業・プロダクツ事業 16 社

- Scope1 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出
- Scope2 他社から供給された電気・熱・蒸気の使用に伴う間接排出
- Scope3 上記以外の間接排出(事業者の活動に関連する他社の排出)

事業活動の活性化にともない、
CO₂排出量が前年比5%増加

温室効果ガス排出量の算出にはScope1～3の範囲が存在します。



新規グループ参画会社紹介



2022年12月連結



大光宣伝株式会社

交通広告・屋外広告の企画制作

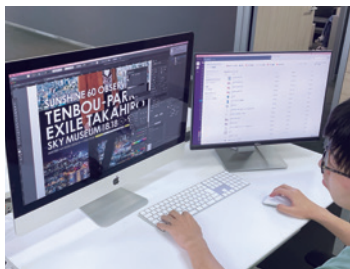
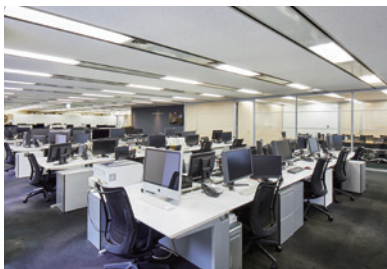
奈良県生駒市元町1丁目6-12 生駒セイセイビル5F
<http://www.daikosenden.com>

連結子会社 議決権比率:100%

大光宣伝は、1939年の創業以来80余年にわたり、トータルセールスプロモーションの専門会社として屋外広告・交通広告を中心に、企画・開発から制作・保守管理まで、独自のノウハウと実績を築いてきました。奈良県生駒市に本社を、大阪市に支店を置き、関西地区で展開する企業・学校法人・病院クリニックなどのお客さまの

広告ニーズにお応えしています。

メディアが多様化しており、時流に合致したお客さまのニーズに的確にお応えするため、広告活動を集客とブランド構築の2点に絞り込み、ブランディングデザインを各種コンテンツに効率的かつ総合的に配分することで、費用対効果の高い提案を行っています。



2023年6月連結



GREAT INTERNATIONAL Co., Ltd.

株式会社グレートインターナショナル

クリエイティブ制作・学校教育向け教材及びICT機器の販売

東京都港区虎ノ門4-2-12 虎ノ門4丁目MTビル2号館4F
<https://www.great-inter.com/>

連結子会社 議決権比率:100%

グレートインターナショナルは、テレビ番組のクリエイティブワークを祖業とし、既存概念にとらわれず「オモシロイことをしよう!」をスローガンに、常に課題に挑み続け、新しい価値を創り続けるべく変わり続けるデザインプロダクション企業です。

グラフィックデザイン、CG、VFX、イラストレーションや動画等の制作ノウハウを活かし、企業の社内イベントや、商品サービスの販売プロモーションを企画から制作実施までワンストップでご提供させていただいています。



2023年12月子会社



Go Go production

株式会社ゴーゴープロダクション

着ぐるみの制作販売・着ぐるみショーの企画・アクターの育成派遣

東京都武蔵野市吉祥寺本町1-33-10 丸二ビル1F

<https://55pro.jp>

非連結子会社 議決権比率:100%

日本で唯一の着ぐるみ専門会社です。「着ぐるみとは最良のコミュニケーションツールである」という理念のもと、見る人の心に感動を与えられる着ぐるみエンターテインメントを

お届けしています。着ぐるみ製作からショーの企画・制作・上演、パフォーマーの育成・派遣、着ぐるみの保守管理、ダンススタジオ運営など、多岐にわたってサービスを提供しています。



2024年3月連結



明日へコミュニケーション

アスコム

株式会社アスコム

ビジネス・経済・健康・教育・生活実用ジャンルの書籍出版等

東京都港区西新橋2-23-1 3東洋海事ビル8F

<https://www.ascom-inc.jp>

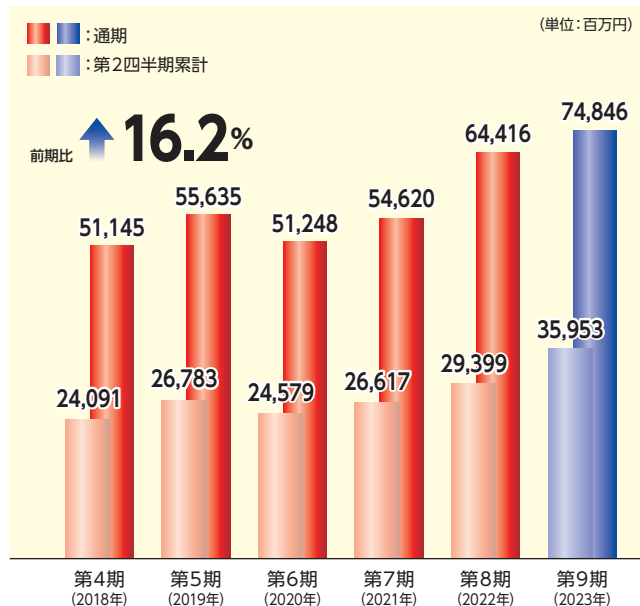
連結子会社 議決権比率:90.85%

アスコムは「コンテンツで人に喜びを届ける」理念のもと、多数のベストセラー書籍を世に送り出してきた出版社です。BtoC領域では書籍出版を、BtoB領域では企業のマーケティングやブランディング支援を行っています。書籍はビジネス書、実用書を中心に刊行。「日本の伝統食材の

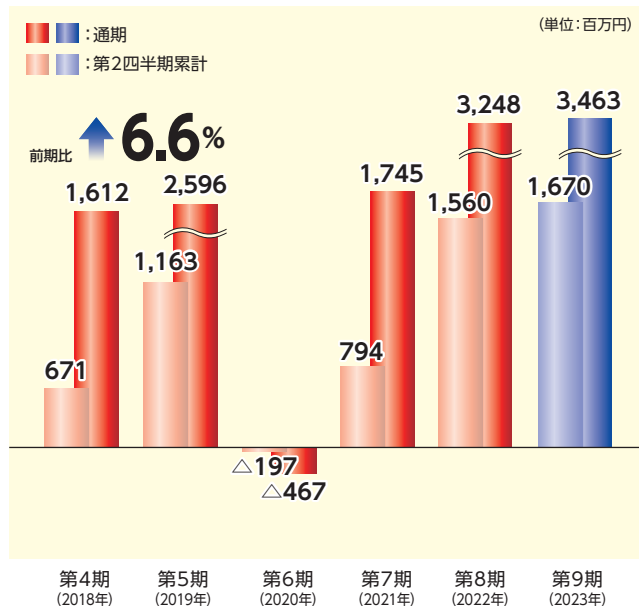
価値の再発見」をテーマにした書籍『医者が考案した長生きみそ汁』は80万部を突破し、味噌の国内消費量を高めるきっかけに。40万部を突破した書籍『空腹こそ最強のクスリ』では16時間ファスティングブームをつくるなど、社会的ムーブメントを創出している出版社です。

連結業績ハイライト

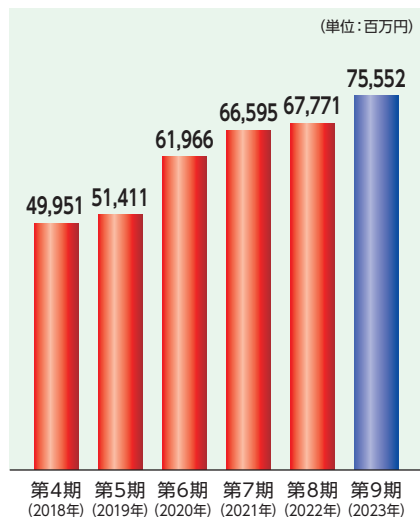
◆ 売上高



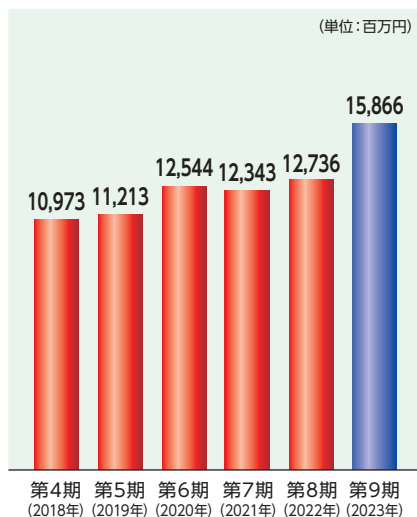
◆ 営業利益



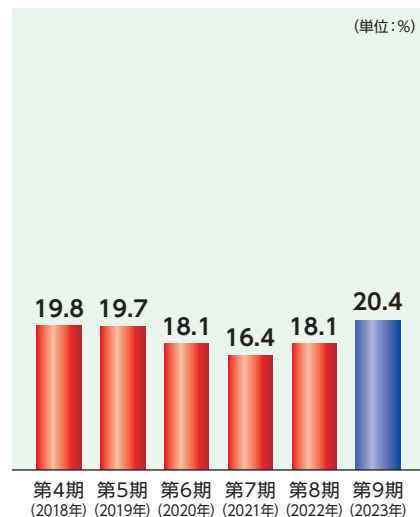
◆ 総資産



◆ 純資産

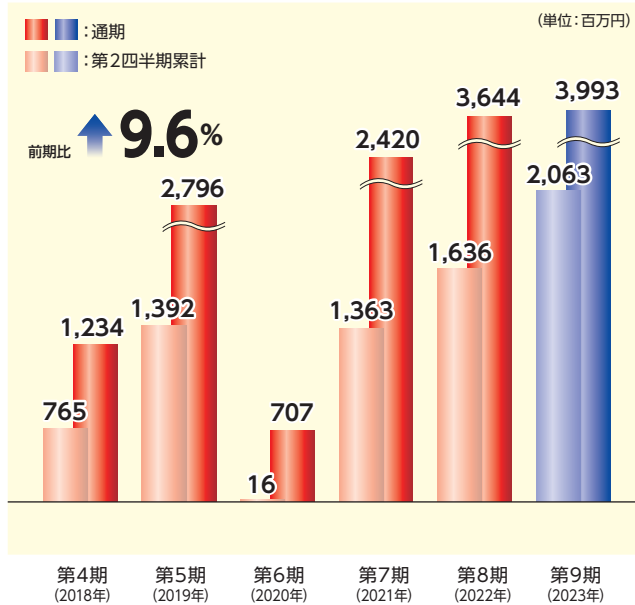


◆ 自己資本比率

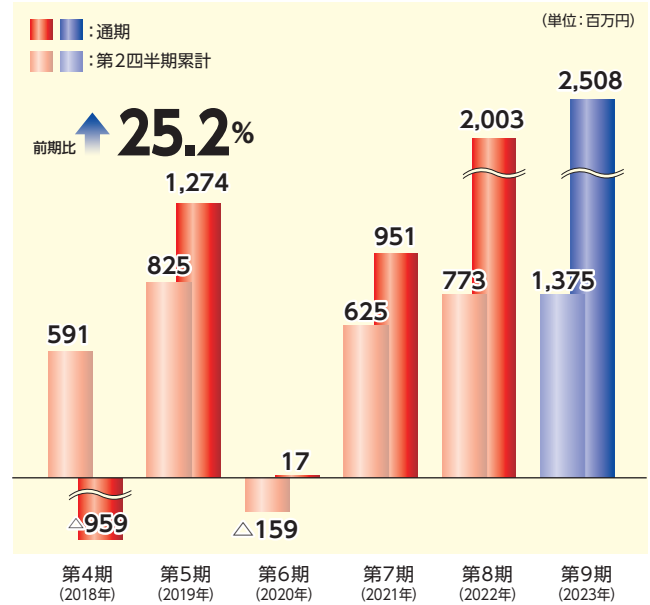


※ 第5期より、「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号2018年2月16日)等の適用による表示方法の変更を行ったため、第4期の総資産については当該変更を反映した遡及修正を行っております。

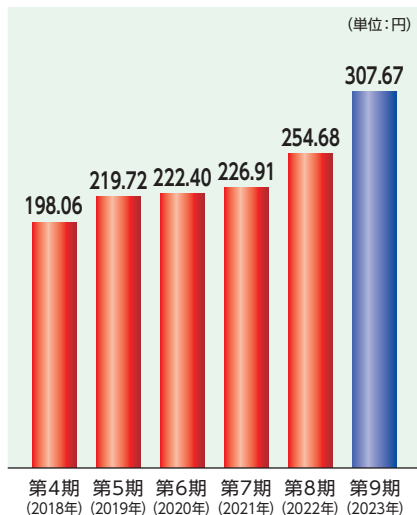
◆ 経常利益



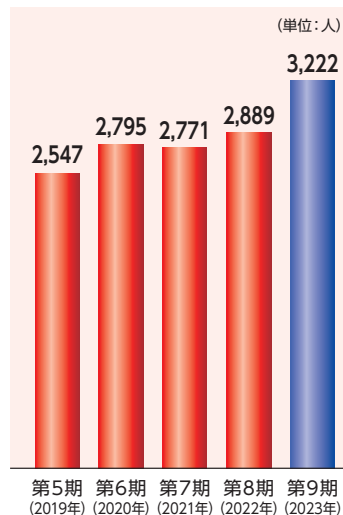
◆ 親会社株主に帰属する当期純利益



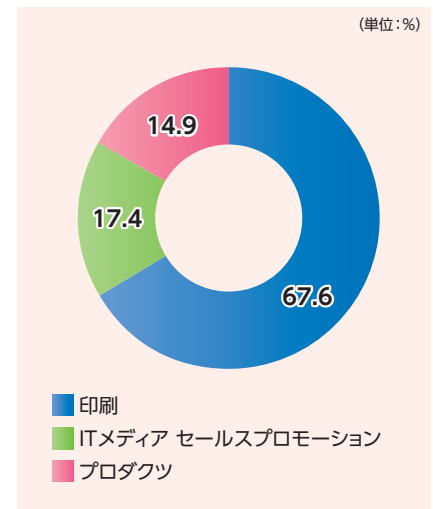
◆ 1株当たり純資産



◆ 従業員数



◆ 売上構成比



※ 2020年1月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。第4期期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

連結財務諸表

◆ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前 期 2022年12月31日現在	当 期 2023年12月31日現在	科 目	前 期 2022年12月31日現在	当 期 2023年12月31日現在
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	29,953	37,381	流動負債	41,360	38,186
現金及び預金	10,400	14,386	買掛金	5,032	3,778
受取手形	1,574	1,438	短期借入金	27,000	25,000
売掛金	11,293	11,784	その他	9,327	9,407
短期貸付金	174	1,951			
その他	6,510	7,820	固定負債	13,675	21,499
固定資産	37,818	38,171	長期借入金	10,650	17,975
有形固定資産	25,479	27,814	退職給付に係る負債	134	127
建物及び構築物	7,729	7,979	その他	2,891	3,397
機械装置及び運搬具	2,671	2,750			
土地	14,773	16,577	負債合計	55,035	59,685
その他	304	506			
無形固定資産	1,420	940	(純資産の部)		
のれん	201	146	株主資本	12,153	14,985
その他	1,218	794	資本金	400	400
投資その他の資産	10,918	9,416	資本剰余金	5,461	4,692
投資有価証券	4,948	5,914	利益剰余金	8,144	10,121
その他	5,970	3,501	自己株式	△ 1,852	△ 227
資産合計	67,771	75,552	その他の包括利益 累計額合計	133	439
			非支配株主持分	449	441
			純資産合計	12,736	15,866
			負債及び純資産合計	67,771	75,552

◆ 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前 期	当 期
	2022年1月1日から 2022年12月31日まで	2023年1月1日から 2023年12月31日まで
売上高	64,416	74,846
売上原価	46,424	54,379
売上総利益	17,992	20,467
販売費及び一般管理費	14,743	17,003
営業利益	3,248	3,463
営業外収益	999	1,054
営業外費用	603	524
経常利益	3,644	3,993
特別利益	901	892
特別損益	1,189	1,186
税金等調整前当期純利益	3,357	3,699
法人税等	1,314	1,287
非支配株主に帰属する当期純利益	38	△ 96
親会社株主に帰属する当期純利益	2,003	2,508

◆ 連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科 目	前 期	当 期
	2022年1月1日から 2022年12月31日まで	2023年1月1日から 2023年12月31日まで
当期純利益	2,042	2,412
その他有価証券評価差額金	△ 6	308
繰延ヘッジ損益	△ 1	△ 0
退職給付に係る調整額	△ 14	—
その他	8	△ 1
その他の包括利益合計	△ 13	307
包括利益	2,029	2,719

◆ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前 期	当 期
	2022年1月1日から 2022年12月31日まで	2023年1月1日から 2023年12月31日まで
営業活動によるキャッシュフロー	2,238	1,799
投資活動によるキャッシュフロー	△ 203	△ 3,534
財務活動によるキャッシュフロー	△ 3,901	5,644
為替換算差額	3	2
現金及び現金同等物の増減額	△ 1,861	3,911
現金及び現金同等物の期首残高	12,217	10,355
非連結会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	88
現金及び現金同等物の期末残高	10,355	14,355

◆ 連結株主資本等変動計算書

(2023年1月1日から2023年12月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主 持 分	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額 合 計		
当期首残高	400	5,461	8,144	△ 1,852	12,153	137	△ 4	133	449	12,736
当期変動額										
剰余金の配当			△ 565		△ 565					△ 565
親会社株主に帰属する当期純利益			2,508		2,508					2,508
自己株式の取得				△ 0	△ 0					△ 0
自己株式の処分		12		11	23					23
自己株式の消却		△ 1,126		1126						
持分法の適用範囲の変動			34		34					34
連結子会社株式の取得による持分の増減		0			0					0
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△ 23			△ 23					△ 23
株式交換による増加		368		487	855					855
その他			△ 0		△ 0					△ 0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						306	△ 0	305	△ 8	297
当期変動額合計	—	△ 769	1,976	1,625	2,832	306	△ 0	305	△ 8	3,130
当期末残高	400	4,692	10,121	△ 227	14,985	443	△ 4	439	441	15,866

会社情報／株主メモ

■ 会社概要

商 号 株式会社日本創発グループ
英 文 商 号 JAPAN Creative Platform Group Co., Ltd.
事 業 内 容 傘下グループ会社の経営管理およびそれに付随する業務
設 立 年 月 日 2015年1月5日
本 社 所 在 地 〒110-0005 東京都台東区上野3-24-6
資 本 金 400,000,000円
決 算 期 12月31日
会 計 監 査 人 PwC Japan有限責任監査法人
取引金融機関 みずほ銀行 三菱UFJ銀行 三井住友銀行
連結従業員数 3,222名(2023.12.31時点) ※臨時雇用者は含まれておりません。
顧問弁護士 荒山國雄法律事務所

■ 株式情報

証 券 コ ー ド 7814
上場証券取引所 東京証券取引所 スタンダード市場
発行可能株式総数 160,000,000株
発行済株式総数 51,000,000株
1単元の株式数 100株
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行
決 算 期 12月31日
定 時 株 主 総 会 3月

■ 役 員

代表取締役社長 藤田 一郎
取 締 役 鈴木 隆一
取 締 役 林 基史
取 締 役 菊地 克二
取締役 監査等委員 瀬島 仁志(社外)
取締役 監査等委員 寺田 正主(社外)
取締役 監査等委員 篠崎 祥子(社外)
取締役 監査等委員 菅波 希衣子(社外)
取締役 監査等委員 儘田 佳代子(社外)
取締役 監査等委員 山下 あや(社外)
取締役 監査等委員 三好 真由美(社外)
取締役 監査等委員 濱谷 美穂(社外)

株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
剰余金の配当の基準日	3月31日、6月30日、9月30日、12月31日
公 告 方 法	電子公告 URL: http://www.jcpg.co.jp/ ただし電子公告による公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同事務連絡先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-232-711(フリーダイヤル)

ホームページのご案内

当社ホームページでは、最新のニュースや技術情報など、
当社企業グループをご理解いただくためのさまざまな情報を提供しております。

URL <https://www.jcpg.co.jp>

日本創発グループ

検索



■ グループ中核概念

Vision

日本創発グループの存在意義／めざすこと

Mission

ビジョンの実現に向けて、
日本創発グループがなすべきこと

Value

ビジョンとミッションの下、
日本創発グループが
お客さまや社会に提供する価値

We Craft Your Imagination.

お客さまが羽ばたかせるご自身のイマジネーション。
私たちは、多様なリソースと先進技術を駆使して、それを確かなカタチにするお手伝いをしていきます。

チームワーク お客さまのチームの一員との心持ちで最善を尽くし、ベスト・パートナーとなることをめざします。そのためにも、社内・グループ内のチームワークの強化に努めます。

プロの真心と技 私たちは、お客さまのご満足と成功を願う真心と、それを支える技を兼ね備えたプロフェッショナルです。

言い訳のない品質 納品物の品質はもとより、企画段階からアフター・フォローまでのプロセスとスピードにおいても、言い訳のない高い品質を実現します。

プラスαの追求 私たちの最大の喜びは、お客さまにご期待を越える成果をお届けし、その笑顔を拝見すること。もっとその笑顔に出会うため、私たちは自らを鍛えながら、お客さまにとってのプラスαを追求し続けます。

我が事として 私たちは、目の前の一人ひとりのお客さまのご要望や目的、お悩みやお困り事に真正面から向き合います。そして、そのご満足を我が事として、丁寧に、一所懸命に追求します。

多様性の底力 私たちは、多様な個性、専門性、先進技術をもった人と会社が結びつき、切磋琢磨している集団です。そこに息づく多様性、先進性、独創性をいっそう発揮しながら、お客さまに新鮮な驚きをお届けしていきます。

新しいカタチ 私たちは、伝統的な印刷をさらに進化させつつ、想像力と先進デジタル技術を駆使して、クライアントの想いを、今まで見たことのないカタチでターゲットの心に刻みつけていきます。

良き市民 私たちは、良き市民として、お客さま、投資家、協力企業、業界、社員、さらには地域社会や環境に対する責任を、誠意をもって、また積極的に果たしていきます。

表紙写真について

	①	②	③
④			
⑤	⑥	⑦	
		⑧	⑨

- ①e-ラーニング教材やWEB動画の制作に使えるスタジオを完備し、さまざまご依頼に対応しています。(株式会社ロクナナ)
- ②透明アクリルとミラーアクリルを2枚重ねた、アクリルスライドミラー。実用性はもちろん、見る角度によって変わる光が生み出す立体感も魅力です。(株式会社funbox)
- ③2月にオープンした「Creative Space CALM Harajuku」は、撮影スタジオとしてももちろん、展示会やPOP UP等にもお使いいただけます。原宿の真ん中という好立地もポイントです。(株式会社パークインスタイル)
- ④カレンダーでおなじみリング綴じをはじめ、多様な製本が可能です。ISOクオリティで、本・カレンダーなどの最終工程を美しく仕上げます。(共同製本株式会社)
- ⑤さまざまなジャンルの本を扱う総合出版社。ベストセラーになる本も多く、中にはミリオンセラーを達成したものもあります。(株式会社アスコム)
- ⑥「第13回コンテンツ東京2023」への出展の様子。映像、WEBコンテンツ、VR、ARアプリなどを展示し、フォトリアルな3D表現に足を止める方も多くいらっしゃいました。(株式会社キャドセンター)
- ⑦紙、アクリル、木などさまざまな素材でノベルティを展開しています。「推し活」アイテムやZ世代に響くデザインなどのご提案も可能です。(東京リスマチック株式会社)
- ⑧「JAPAN MOBILITY SHOW 2023」のホンダブースで展開された、生成AIでユーザーの「夢の設計図」を描くプログラム「Honda DREAM LOOP AI」に携わりました。(株式会社ソニックジャム)
- ⑨日本で唯一の着ぐるみ専門会社。通気性に優れた、国内特許取得の「スースーヘッド®」は、スポーツマスコットを中心に広くご活用いただいています。(株式会社ゴーゴープロダクション)



SIAAマークはISO22196法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

株式会社 日本創発グループ

〒110-0005 東京都台東区上野3-24-6

TEL.03-5817-3061

UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォントを
採用しています。